

令和 8 年度第 1 回「岐阜県男女共同参画二十一世紀審議会」議事要旨

日 時	令和 8 年 8 月 4 日（火） 1 3 : 3 0 ~ 1 5 : 0 0
場 所	岐阜県庁 6 階 特別会議室（Zoom による Web 会議併用）
出席委員	石樽委員、岩佐委員、川尻委員、島田委員、杉山委員、玉木委員、田村委員、本間委員、宮崎委員（以上、9 名）
欠席委員	太田委員、佐藤委員、内藤委員、中垣委員、松岡委員、安井委員（以上、6 名）
県（事務局）	足立副知事、桑田子ども・女性部長、渡部子ども・女性部次長、豊田男女共同参画推進課長、佐々木男女共同参画・女性の活躍支援センター長、山岸子ども・女性政策課長、中丸子育て支援企画監、増田管理調整監、城戸脇私学振興課長 ほか

会 議 の 概 要

2 議題（1）会長の選出及び副会長の指名について ・互選により、杉山委員が会長に選任された。 ・会長より、田村委員が副会長に指名された。	
2 議題（2）部会長（員）の指名について ・会長より、表彰選考部会には、杉山会長（部会長）、川尻委員、玉木委員、内藤委員、本間委員が指名された。 ・会長より、苦情処理検討部会には、田村副会長（部会長）、岩佐委員、松岡委員が指名された。なお、苦情の内容によっては、その都度追加で委員を指名することとされた。	
2 議題（3）岐阜県男女共同参画計画（第 5 次）について （4）岐阜県配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等並びに困難な問題を抱える女性への支援のための基本計画について （5）令和 7 年度の事業実績について （6）第 6 次男女共同参画基本計画について （7）令和 8 年度の主な事業について ・事務局から資料に沿って説明した。	
（意見交換）	
杉山会長	非正規雇用の労働者に向けて職業訓練を行うとのことだが、女性の経済的自立支援として実施する職業訓練の内容は。
豊田課長	Web デザイン・AI プログラミング養成講座（15 名×4 回）、Web デザインを活用したネットショップ運営講座（15 名×3 回）の 2 つのコースを予定しており、現在、第 1 期を募集・実施している。
杉山委員	第 1 期の感触は。

豊田課長	順調に進んでおり、今後も継続して実施できる見込み。
杉山会長	国の掲げる第6次男女共同参画計画では、テクノロジーの進展・利活用等が重要視されている。そのような成果につながるよう、事業を実施していくことが重要だと考える。
石樽委員	教育現場では、性別にかかわらず誰もが自分らしく生きることを大切にしている。資料中の表現にある「異性観」とは、どのようなものか。
豊田課長	教育委員会では、性の多様性も含めて幅広く捉えている。当該認識のもと、各学校が実情に応じて検討しながら道徳教育や探究学習の中で取り組んでいる。
玉木委員	ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業制度と、働いてもらい方改革について、それぞれの制度の現状や課題、普及に向けた取組は。
豊田課長	ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業認定は、令和7年度末現在213社となっている。4年ごとの更新審査やアドバイザー派遣を行い、取組内容のブラッシュアップを図っている。市町村との連携や、各種媒体を通じて制度の周知等を行っているが、今後はより一層周知に力を入れていきたい。働いてもらい方改革については、意識改革、働きやすさの向上、生産性向上を柱に、事例集やセミナーを通じて普及を進めていく予定。
本間委員	現在の企業最大の課題は人材確保であると考え。男女共同参画は経済政策でもあると捉えており、アンコンシャス・バイアスの解消やエクセレント企業認定の拡大、中小企業向けの段階的認定制度の導入、健康経営認定との連携等は特に有意義な取組であると考え。また、認定の申請に際しては、認定制度ごとに同様の書類の提出が求められる場合が多く、企業側の事務負担が大きい。申請のハードルを高めている要因の一つと考えられるため、今後は手続の簡素化を進め、県内企業がより積極的に認定取得を目指せるよう、制度の在り方を見直していくことが望ましい。
豊田課長	企業訪問による意見収集を進めており、認定制度のあり方や他制度との連携についても検討していく。
宮崎委員	「ロールモデル等と学生の交流会」について、岐阜大学の学生への周知方法と全参加者の内訳は。また、「ぎふジョ！」のポータルサイト閲覧者数及びSNS登録者数が伸び悩んでいるが、認知度向上や更なる情報発信に向けた今後の展望は。さらに、大学生向けのライフデザイン教育プログラムについては、講義形式だけでなく、主体的な学びの機会も検討して欲しい。
佐々木 センター長	「ロールモデル等と学生の交流会」については、岐阜大学男女共同参画推進室の協力を得て、現代社会論を専攻している学生を対象に周知・実施した。参加者は、岐阜大学：89名、朝日大学：27名、東海学院大学：76名の計192名。 引き続き、大学の協力を得て、多くの学生に参加いただけるよう実施する予定。

豊田課長	「ぎふジョ！」のポータルサイトについては、男女共同参画施策を情報発信するための重要なツールだと認識している。今後は、「共家事（ともかじ）・共育（ともいく）」等の新たなコンテンツを追加し、県公式 SNS との連携も図りながら発信強化を進めていく。 岐阜大学との連携事業については、岐阜大学と包括連携のもとでプログラム開発を進めている。現在、大学と協議しながら内容の充実を図っており、委員提案の内容も伝える。
島田委員	「小さなビジネス支援」の「小さな」とは何か。また、「ひとり親家庭等就業・自立支援センター」等、各種センターの認知度が低いのではないかと。さらに、女性のヘルスアップに関する事項について、「民間団体との協働」との記載があるが、その意義は。さらに、ライフデザイン講座の講師は誰を指しているのか。
佐々木センター長	「小さな」の具体的な定義はないが、子育て等と両立しながら、小規模で始めたい女性を対象としている。
増田調整監	ひとり親家庭等就業・自立支援センターについては、広く知っていただけるよう、引き続き、SNS 等も活用して周知したい。
豊田課長	「女性のヘルスアップ」に係る民間企業との連携については、健康福祉部所管の事業として、乳がん検診の受診率向上を目的に実施しているものである。ライフデザイン講座については、主に学校教員や外部専門家が担当しており、今年度は夏休みの期間に、家庭科の教員を対象に、ライフデザインに係る理解を深めていただくための講義を教育委員会と連携して実施する予定。
川尻委員	県の様々な取組は充実していると感じるが、まだ十分に知られていない。周知活動の工夫が必要。 また、アンコンシャス・バイアス対策や男性育休の質の向上、家事・育児の実質的な分担等が重要になると考える。 企業主導型保育事業について、各市町で行っているとの話を聞くが、企業への支援体制等、今後より深めていく等の方向性があれば教えてほしい。
豊田課長	SNS や啓発キャンペーンを通じた周知を強化していく。
中丸企画監	企業主導型保育事業に対する国の補助金がある。様々な要件があるため、要望等があれば相談いただきたい。
田村副会長	ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業をはじめ、成功事例を積極的に広報・発信することが重要だと感じる。 また、岐阜県が全国と比較して優れている点や課題について教えていただきたい。
豊田課長	広報については、効果的な媒体を活用し、効果的かつ効率的に実施していく。企業訪問の際に、エクセレント企業の認定が雇用に繋がっているとの声をいただくので、このような事例の活用を検討していく。 管理的職業従事者に占める女性割合は 13%で全国 45 位と低い状況であり、今後は他県との比較分析も行いながら、施策の改善につなげていきたい。

岩佐委員	岐阜県独自の先進的な取組や成功事例があれば教えてほしい。 また、女性管理職割合が低い要因について、県としてどのように考えているのか。 女性の経済的自立支援として実施する職業訓練の内容を教えてほしい。
豊田課長	働いてもらい方改革推進事業などが特徴的な取組である。女性管理職割合については、アンコンシャス・バイアスや企業風土など複合的な要因があると考えており、引き続き実態把握と分析を進める。 職業訓練については、Web デザイン・AI プログラミング養成講座（15 名×4 回）、Web デザインを活用したネットショップ運営講座（15 名×3 回）の 2 つのコースを予定しており、現在、第 1 期を募集・実施している。
3 足立副知事 総括 岐阜県ではさまざまな施策が実施されているが、周知が不足しているとの御意見があった。より多くの人に知ってもらうための広報に取り組んでまいりたい。 本日いただいたご意見は、新たな総合戦略の策定にも生かしてまいりたいと考えている。 委員の皆様には、今後とも様々な機会を通じてご指導、ご助言を賜るとともに、本県の男女共同参画の推進に一層のご理解とご協力を願いたい。	